



写真1 島の山古墳の粘土槨  
棺外遺物出土状況  
(木槨の腐食によって生じた被覆粘土の陥没に添って祭祀具としての石製腕飾類が落ち込んでいる。この箇所では大半が車輪石。)  
〈転載許可：奈良県立橿原考古学研究所〉

## ふるさと御所 文化財探訪

其の十六

### 古墳時代〈4〉

前期古墳の埋葬主体  
棺内副葬と棺外副葬

生涯学習課文化財係  
☎内線696

うことは推測するに難くありません。川西町所在、島の山古墳前方部の粘土槨(写真1)では130点を超える石製腕飾類(車輪石・鉄形石・石釧)はすべて棺外の被覆粘土の上に置かれ、他方、棺内には銅鏡3面や首飾りなどの玉類、石製の合子(小物入れ)などが納められるという顕著な差異が認められました。

また天理市所在、黒塚古墳の竪穴式石室(写真2)では、棺内には1面の中国製画文帯神獸鏡が副葬される一方、棺外に副葬された33面の銅鏡はすべて三角縁神獸鏡でした。

5月号で触れたとおり、魏志倭人伝には卑弥呼が魏王朝から銅鏡100枚などを数度にわたって送られた記事があります。三角縁神獸鏡の中には実際に魏の年号である景初3年(239年)や正始元年(240年)の銘文を持つものもあることなどからも、三角縁神獸鏡は画文帯神獸鏡などと共に、卑弥呼の鏡の最有力候補の一つと見られてきました。しかし、右記した黒塚古墳の状況からみれば、すべての三角縁神獸鏡を魏王朝またはこれを受け継いだ晋王朝から送られたものとするには無理があります。原鏡から複数の范型(銅鏡の鋳型)を作り、倭国内でもかなりの数の三角縁神獸鏡がコピーして製作されたと思われるからです。さて、件の三角縁神獸鏡は鴨都波1号墳からは4面の出土が知られます。

#### 鴨都波1号墳 副葬品一覧

| 棺内 |     | 棺内鏡(三角縁神獸鏡)1、漆塗杖状木製品1、緑色凝灰岩製紡錘車形石製品1、玉類(硬玉製勾玉5、碧玉製管玉8、ガラス小玉44)、鉄剣1 |
|----|-----|--------------------------------------------------------------------|
| 棺外 | 棺外東 | 鉄刀2以上、矢箭(鉄鏃)10、漆塗靴1、漆膜(盾?)1、碧玉製大形紡錘車形石製品1                          |
|    | 棺外西 | 棺外鏡(三角縁神獸鏡)3、方形板革綴短甲1、漆塗靴1、矢箭(鉄鏃)27、槍2                             |
|    | 北小口 | (不明)                                                               |
|    | 南小口 | 板状鉄斧1、有袋鉄斧2、鉄剣4、鉈5、鑿1、不明鉄製品1                                       |



写真2 黒塚古墳の竪穴式石室 遺物出土状況(北から)

(棺内には画文帯神獸鏡1面が副葬されたが、棺外の三角縁神獸鏡33面は棺の蓋を閉じた後、石室と棺のすき間に滑り込ませるようにして副葬された)  
〈転載許可：奈良県立橿原考古学研究所〉

それらに関する詳細は次号以降で検討するとして、ここでは鴨都波1号墳の副葬品を棺内と棺外に分けて記し、後考に備えておきたいと思っています。

### 編集後記

連日熱戦が繰り広げられた甲子園。注目の花巻東高校は準決勝で敗れ去った。エースの菊池雄星君が本調子でなく苦しい試合が続いたが、ピンチでも笑顔いっぱいのはたつた全員野球でベスト4まで勝ち進む姿に、高校野球の原点を見た思いがした。準決勝では故障の菊池君はじめ代役の投手も完膚なきまでに打ち込まれ、一方的な試合となったが、選手たちの全力プレーとベンチに最後まで笑顔が絶えないのが救いであった。試合後、敗戦の責をすべて背負い込んだように泣きじゃくる菊池君の姿に、健全なスポーツマンの美しい精神性を垣間見た気がする。(久)



2009. 9